

宮崎県感染症週報

宮崎県感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和5年第25週の発生動向

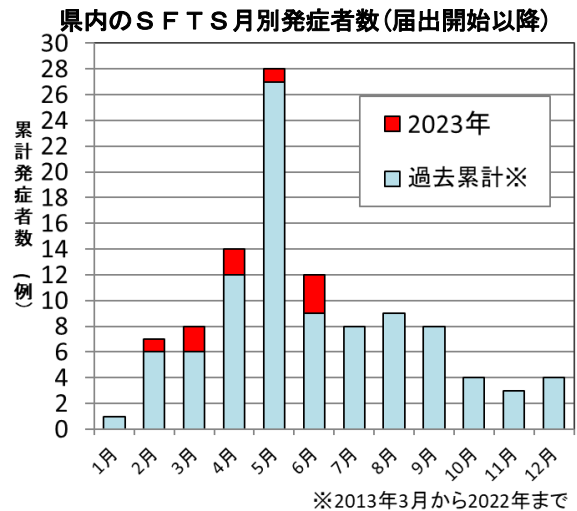
トピックス

重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)

(全数報告の感染症) の報告が宮崎市、日向保健所管内からあった。患者は70歳代と90歳代のいずれも女性で、ダニの刺し口が確認できた。県内での報告は、累計106例となった。

県内のSFTS 年齢別報告数(届出開始以降)

20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代
1	1	2	5	24	41	26	6



全数報告の感染症 (25週までに新たに届出のあったもの)

- 1類感染症：報告なし。
- 2類感染症：結核3例。
- 3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症1例。
- 4類感染症：重症熱性血小板減少症候群2例、日本紅斑熱1例、レジオネラ症1例。
- 5類感染症：梅毒2例、破傷風1例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	90歳代	女	肺結核	発熱
		延岡	70歳代	女	無症状病原体保有者	なし
		日向	70歳代	女	肺結核	咳、痰、発熱
3類	腸管出血性大腸菌感染症	都城	5~9歳	男	—	腹痛、水様性下痢、O26(VT型不明)
4類	重症熱性血小板減少症候群	宮崎市	70歳代	女	—	発熱、神経症状、血小板減少、白血球減少、リンパ節腫脹、出血傾向、刺し口
		日向	90歳代	女	—	発熱、神経症状、食欲不振、全身倦怠感、血小板減少、白血球減少、刺し口
	日本紅斑熱	日南	90歳代	女	—	発熱、DIC、肝機能異常
	レジオネラ症	宮崎市	60歳代	男	肺炎型	発熱、肺炎
5類	梅毒	宮崎市	20歳代	男	早期顕症梅毒Ⅰ期	初期硬結
			40歳代	男	早期顕症梅毒Ⅰ期	初期硬結
	破傷風	宮崎市	70歳代	女	—	筋肉のこわばり、開口障害、嚥下障害、発語障害

定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は1,683人(定点当たり38.9)で、前週比96%とほぼ横ばいであった。なお、前週に比べ増加した主な疾患は新型コロナウイルス感染症とA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で、減少した主な疾患はインフルエンザ、手足口病及びヘルパンギーナであった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【新型コロナウイルス感染症】

報告数は419人(7.2)で、前週比123%と増加した。中央(19.0)、日向(9.2)、延岡(9.1)保健所からの報告が多く、年齢群別は別グラフに示す。

【インフルエンザ】

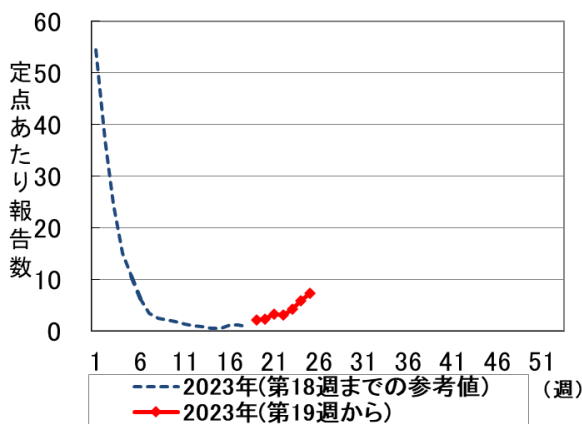
報告数は395人(6.8)で、前週比84%と減少した。例年同時期の定点あたり平均値*(0.09)の約75.1倍であった。都城(16.4)、中央(10.0)、日南(9.8)、小林(9.8)保健所からの報告が多く、年齢群別は5歳から9歳が全体の約4割を占めた。

【ヘルパンギーナ】

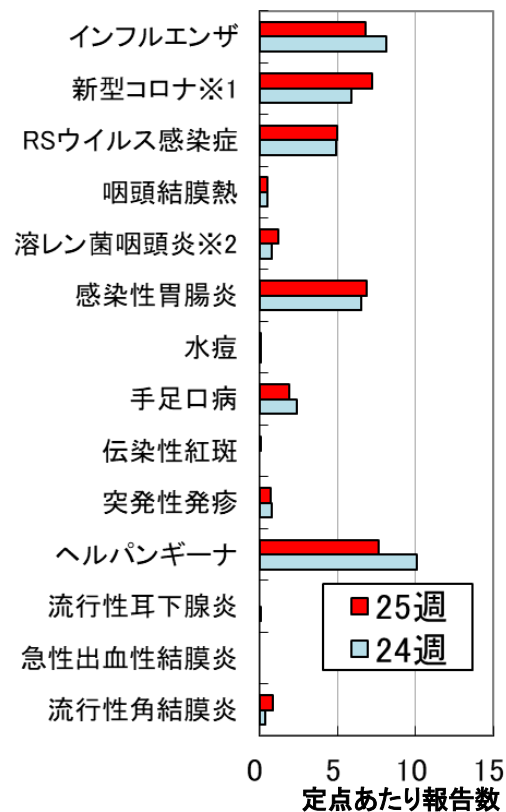
報告数は276人(7.7)で、前週比76%と減少した。例年同時期の定点あたり平均値*(0.50)の約15.4倍であった。小林(13.7)、延岡(9.5)、日向(8.5)保健所からの報告が多く、年齢群別は1歳から4歳が全体の約7割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

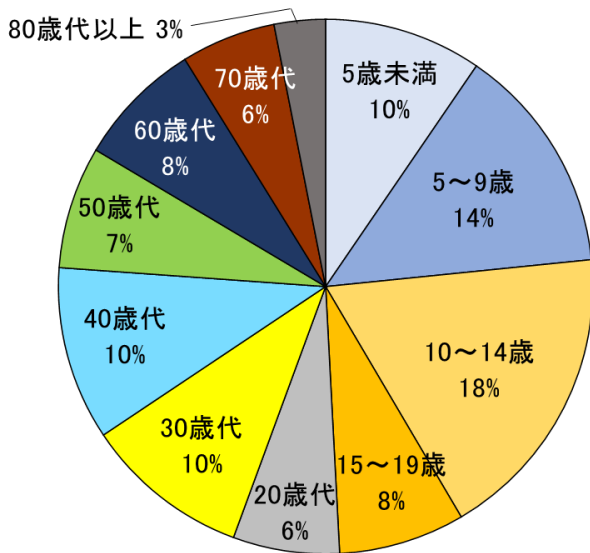
新型コロナウイルス感染症 発生状況



《前週との比較》

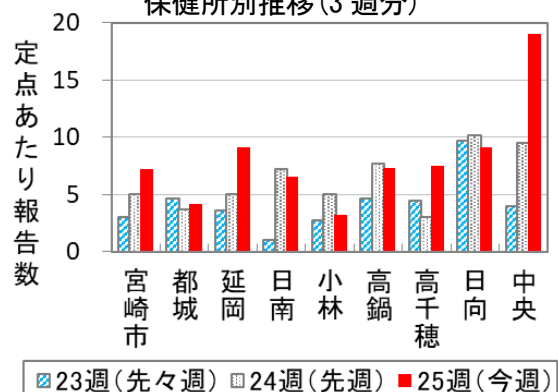


新型コロナウイルス感染症年齢群別グラフ(第25週)

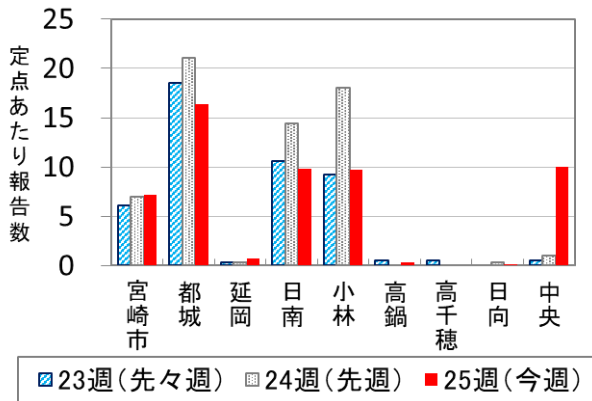


※新型コロナウイルス感染症の第1週~第18週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

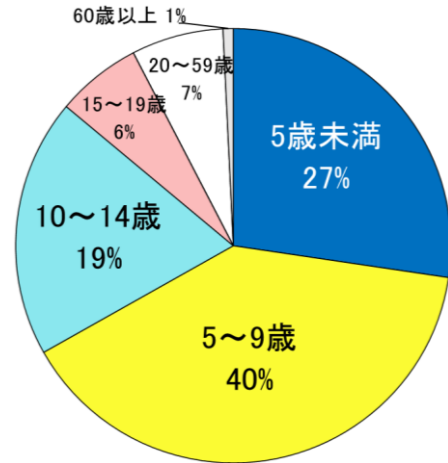
新型コロナウイルス感染症 保健所別推移(3週分)



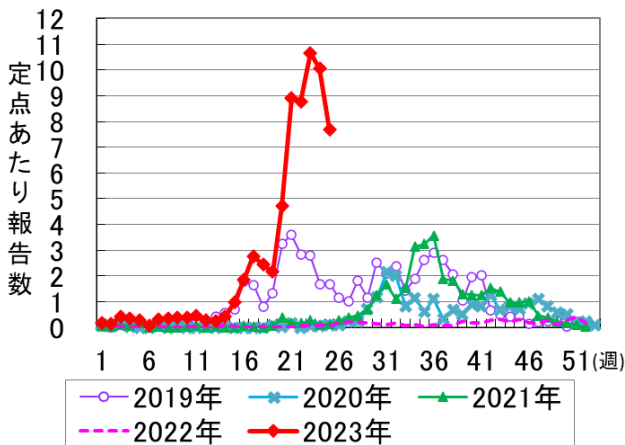
インフルエンザ 保健所別推移(3週分)



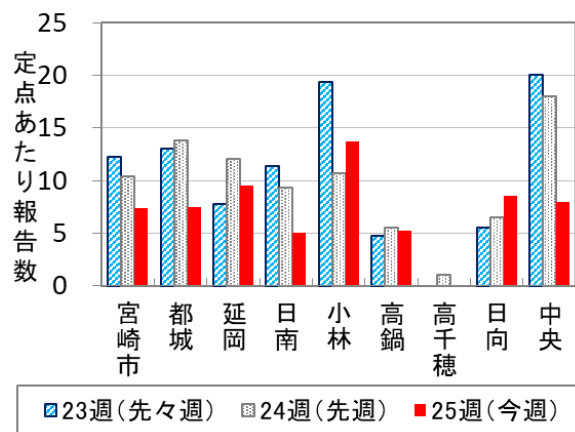
インフルエンザ年齢群別グラフ(第25週)



ヘルパンギーナ 発生状況



ヘルパンギーナ 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★ なし

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	ヘルパンギーナ(7.4)
都城	インフルエンザ(16.4)、ヘルパンギーナ(7.5)
延岡	ヘルパンギーナ(9.5)
日南	なし
小林	感染性胃腸炎(20.0)、ヘルパンギーナ(13.7)
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	ヘルパンギーナ(8.5)
中央	インフルエンザ(10.0)、ヘルパンギーナ(8.0)

※流行警報レベル開始基準値※

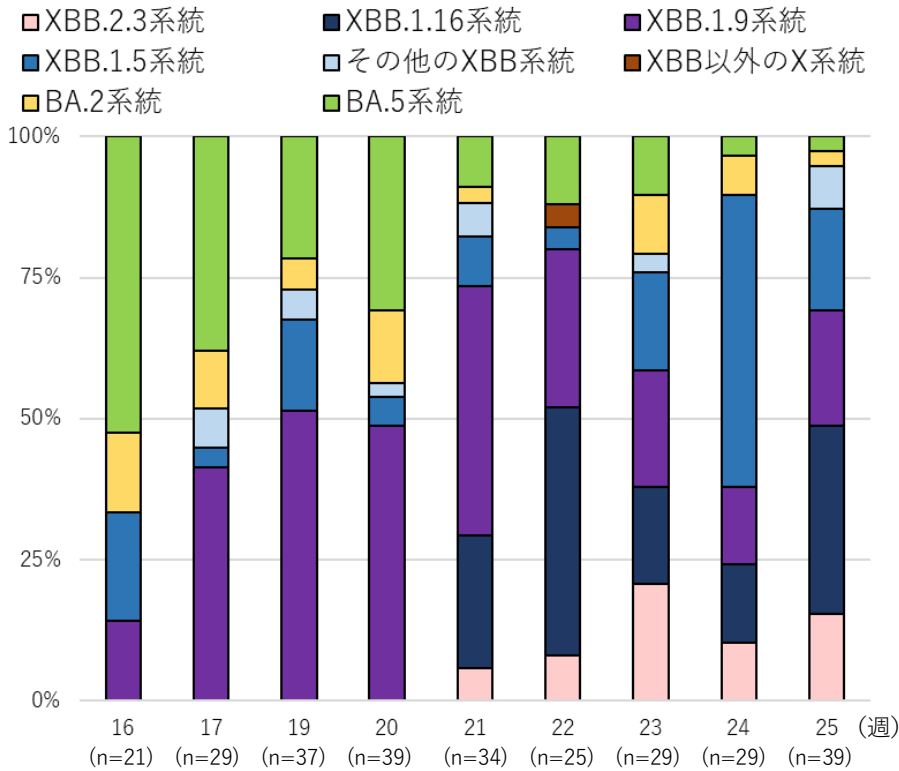
- ・感染性胃腸炎(20)
- ・ヘルパンギーナ(6)

※流行注意報レベル基準値※

- ・インフルエンザ(10)

□新型コロナウイルスゲノム解析結果情報（衛生環境研究所微生物部）

新型コロナウイルスゲノム解析週と検出系統



XBB 系統は第 25 週で約 95%を占め、特に XBB. 1. 16 系統が約 33%を占めた。

「X」で始まる名前は遺伝子組換えで発生した系統に付けられる。

XBB は BJ. 1 (BA. 2. 10. 1 系統) / BM. 1. 1. 1 (BA. 2. 75. 3 系統) の組換え株である。

ゲノム解析は概ね前週の検体を用いて実施している。なお、解析検体数が多くない場合は割合の変動が大きくなる。

衛生環境研究所においては、県内医療機関の協力のもと、新型コロナウイルスの PCR 陽性となった検体を毎週収集し、ゲノム解析を実施している。

✚ 全国 2023 年第 24 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	251 例				
3類感染症	細菌性赤痢	2 例	腸管出血性大腸菌感染症	97 例	腸チフス	1 例
	パラチフス	1 例				
4類感染症	E型肝炎	7 例	エムポックス	2 例	重症熱性血小板減少症候群	7 例
	つつが虫病	3 例	デング熱	2 例	日本紅斑熱	13 例
	レジオネラ症	131 例				
5類感染症	アメーバ赤痢	5 例	ウイルス性肝炎	3 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	29 例
	急性弛緩性麻痺	2 例	急性脳炎	4 例	クリプトスポリジウム症	1 例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	4 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	19 例	後天性免疫不全症候群	12 例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	13 例	侵襲性肺炎球菌感染症	20 例	水痘(入院例)	7 例
	梅毒	229 例	播種性クリプトコックス症	2 例	破傷風	8 例
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例	百日咳	24 例	麻しん	2 例

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 107%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患は新型コロナウイルス感染症、RSウイルス感染症、手足口病及びヘルパンギーナで、減少した主な疾患は感染性胃腸炎であった。

新型コロナウイルス感染症の報告数は 27,614 人(5.6)で前週比 110%と増加した。沖縄県(28.7)、鹿児島県(9.6)、千葉県(7.6)からの報告が多く、年齢群別では 20 歳未満が全体の約 4 割を占めた。

インフルエンザの報告数は 6,344 人(1.3)で前週比 95%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値*(0.07)の約 17.8 倍であった。鹿児島県(10.6)、宮崎県(8.2)、長崎県(4.5)からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満が全体の約 8 割を占めた。

ヘルパンギーナの報告数は 14,112 人(4.5)で前週比 150%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.33)の約 13.8 倍であった。和歌山県(10.5)、宮崎県(10.1)、鹿児島県(9.9)からの報告が多く、年齢群別では 1 歳から 5 歳が全体の約 8 割を占めた。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均

宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2023年 第25週(06月19日～06月25日)

疾病名		第24週	第25週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	473	395	115	164	5	49	39	2		1	20
	定点当り	8.16	6.81	7.19	16.40	0.71	9.80	9.75	0.33	0.00	0.17	10.00
新型コロナウイルス感染症	報告数	341	419	115	42	64	33	13	44	15	55	38
	定点当り	5.88	7.22	7.19	4.20	9.14	6.60	3.25	7.33	7.50	9.17	19.00
RSウイルス感染症	報告数	176	179	47	26	29	17	4	29		10	17
	定点当り	4.89	4.97	4.70	4.33	7.25	5.67	1.33	7.25	0.00	2.50	17.00
咽頭結膜熱	報告数	18	19	4	2	8		1	4			
	定点当り	0.50	0.53	0.40	0.33	2.00	0.00	0.33	1.00	0.00	0.00	0.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	28	43	21	10	1		2	1		6	2
	定点当り	0.78	1.19	2.10	1.67	0.25	0.00	0.67	0.25	0.00	1.50	2.00
感染性胃腸炎	報告数	234	248	65	44	5	13	60	21	7	24	9
	定点当り	6.50	6.89	6.50	7.33	1.25	4.33	20.00	5.25	7.00	6.00	9.00
水痘	報告数	1	3	2				1				
	定点当り	0.03	0.08	0.20	0.00	0.00	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	86	69	13	11	14	5	1	12		13	
	定点当り	2.39	1.92	1.30	1.83	3.50	1.67	0.33	3.00	0.00	3.25	0.00
伝染性紅斑	報告数		1			1						
	定点当り	0.00	0.03	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	29	26	12	2	2	1	5	2		2	
	定点当り	0.81	0.72	1.20	0.33	0.50	0.33	1.67	0.50	0.00	0.50	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	362	276	74	45	38	15	41	21		34	8
	定点当り	10.06	7.67	7.40	7.50	9.50	5.00	13.67	5.25	0.00	8.50	8.00
流行性耳下腺炎	報告数	1										
	定点当り	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	2	5	4	1							
	定点当り	0.33	0.83	1.33	0.50	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2023年 第1週～25週)

2類感染症	結核	60例(3)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	6例(1)	腸チフス	1例
4類感染症	重症熱性血小板減少症候群	9例(2)	つつが虫病	10例
	レジオネラ症	2例(1)		日本紅斑熱
5類感染症	アメーバ赤痢	2例	ウイルス性肝炎	4例
	急性弛緩性麻痺	1例	急性脳炎	3例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4例	後天性免疫不全症候群	4例
	侵襲性肺炎球菌感染症	8例	水痘(入院例)	2例
	播種性クリプトコックス症	3例	破傷風	1例(1)
			カルバペネム耐性腸内細菌感染症	1例
			クロイツフェルト・ヤコブ病	2例
			侵襲性インフルエンザ菌感染症	1例
			梅毒	90例(2)
			百日咳	4例

()内は今週届出分、再掲